

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、将来観光に携わる仕事に就きたく、他にも大学で大好きな京都について学びたいと思っていました。社会システム学科の京都学・観光学コースでは、京都と観光の両方を学ぶことができるため、とても魅力を感じ、同志社女子大学を志望しました。また、オープンキャンパスで先輩方のいきいきとした姿を見たことで、この大学で学びたいという思いがさらに強くなりました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校1・2年時に海外へ行っていたので、そこでの経験や学びを活かしたい、と思ったからです。また、同志社女子大学で学びたい、という強い気持ちがあり、自分自身をしっかりと評価していただけるAO入試は、これまでの経験をアピールできる大きなチャンスだと思いました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

2年間の海外生活で様々な経験をしたことを主にアピールしました。また、自分が海外で何を感じ、どれだけ成長することができたか、その力が今後どのように大学生活に役立つのかを、明確に伝えることを意識しました。私はコンクールなどでの受賞歴がなかったので、漢字や英語の検定を取得している良かったです。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自己アピール文では、これまでの活動をアピールするだけでなく、同志社女子大学の求める人物であることも書きました。志望理由書は、大学案内を読み込み、将来やりたいことを実現するためになぜ同志社女子大学でなければならないかを強く主張しました。また課題レポートは、課題内容をよく理解し、何を書いて欲しいのか、求められていることを考えてから書くことが大切だと思います。

〔面接〕

私が面接で心がけたことは、自信を持って話すことです。自信を持てれば、その気持ちは表情にも表れるし、面接官にも伝わると思いました。出願書類の内容は人に話せるくらい頭に入れましたし、質問を予想し、その答えを書いたノートを作って準備しました。面接の練習は、質問に対して詰まらずに答えられるくらい練習しました。また、要点を入れた短い文で話せるようにすることも大切だと思います。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私がAO入試受験を決めたのは7月でした。出願まで日にちがない中での書類作成でしたが、「絶対にこの大学で学びたい」という強い気持ちを持って、最後まで書き切ることができました。次に受験されるみなさん、「同志社女子大学で学びたい」という強い気持ちは必ず書類や面接に表れます！自信を持ってそれを伝えて下さい！応援しています！